

神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式に参加して

県隊友会会長 寺地重告

防衛省は、任務遂行中に不幸にして職に殉じた隊員を追悼するために、毎年、市ヶ谷の防衛省慰霊碑前で自衛隊殉職隊員追悼式を実施しております。平成三十年度自衛隊殉職隊員追悼式は、総理大臣・防衛大臣出席の下、十月三十日（土）に実施されました。

一方、神奈川県においても、神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式が陸自武山駐屯地・体育館で毎年実施されております。平成三十年度神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式は、十一月十五日（木）十一時からご遺族十八名、国会議員・地方自治体首長・議員、横須賀地方総監・関係部隊指揮官等多くの関係者ご参列の下、武山駐屯地司令を執行者として、県下の殉職隊員六十三柱の御霊に対し、参列者全員で礼拝、国歌斉唱、儀仗・黙祷、執行者（堀江武山駐屯地司令）追悼の辞、共催者代表（寺地県隊友会長）追悼の辞、参列者による献花、礼拝・儀仗隊による弔銃発射、ご遺族代表挨拶の式次第で厳かに挙行されました。

自衛隊は「我が国の平和と独立を守る」という崇高な使命を担い、自衛隊員は「事に臨んでは危険を顧みず、身をもつて責務の完遂に務め、もつて国民の負託にこたえる」

ことを誓っております。六十三柱の御霊は、自衛隊の使命を良く自覚し、旺盛な責任感のもと、任務遂行中に、殉職されました。我々は、志なかばにして殉職された御霊の無念さを思い、謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、かけがえのない家族を亡くされたご遺族の皆様のご平安ご多幸をご祈念申し上げます、心を込めて追悼していくべきであります。なお、追悼式は県隊友会及び県家族会共催で実施されており、県隊友会からも各支部長等が参列しております。

追悼式に引き続きご遺族及び主要部隊指揮官等は駐屯地食堂に移動、自衛隊代表挨拶（渡邊横須賀地方総監）、共催者挨拶（高橋県家族会長）・献杯の音頭でご遺族との追悼会食が実施されました。当日は晴天にも恵まれ、武山駐屯地からも雪化粧した霊峰・富士山が相模湾越しにくつきりと見え、非常に印象に残る追悼式でした。

